

地域医療連携推進法人制度に関するアンケート調査結果 (地域医療連携推進法人、 都道府県・都道府県医師会・地域医師会(※)からの回答)

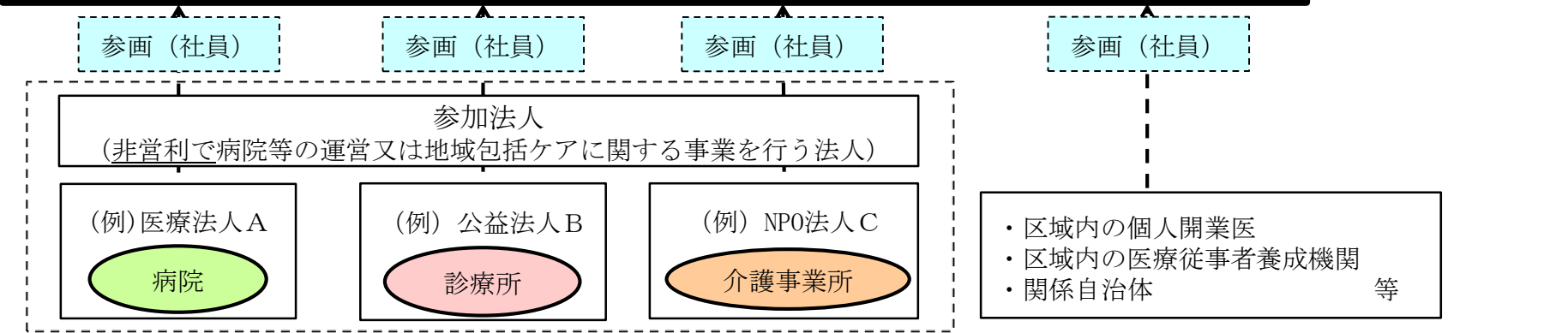
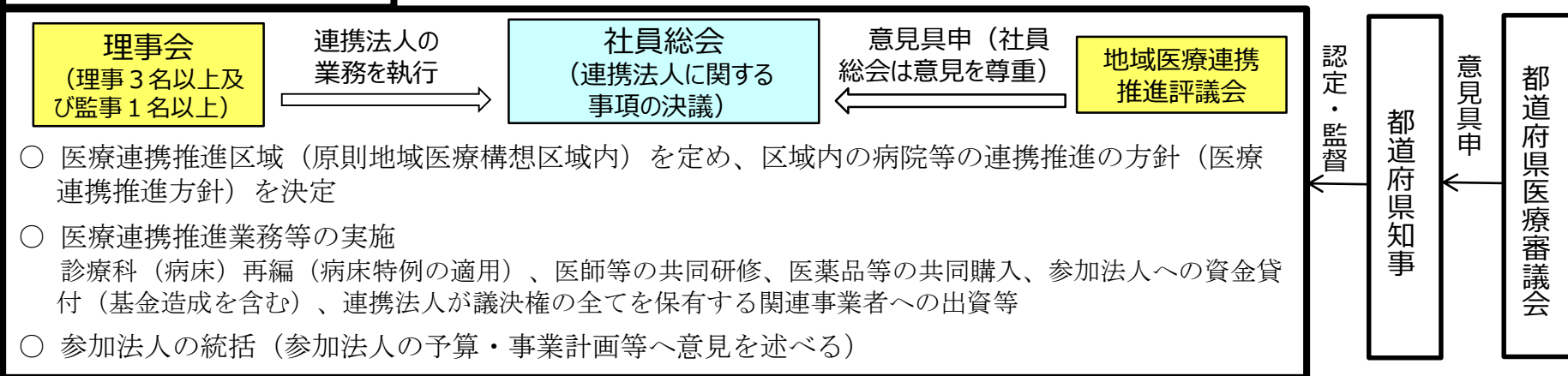
※地域医療連携推進法人を認定している
都道府県、地域医療連携推進法人の医
療連携推進区域に所在する都道府県医
師会及び地域医師会。

厚生労働省医政局医療経営支援課

地域医療連携推進法人制度の概要

- ・医療機関相互間の機能分担及び業務の連携を推進し、地域医療構想を達成するための一つの選択肢としての、新たな法人の認定制度
- ・複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域において質が高く効率的な医療提供体制を確保

地域医療連携推進法人



- 一般社団法人のうち、地域における医療機関等相互間の機能分担や業務の連携を推進することを主たる目的とする法人として、医療法に定められた基準を満たすものを都道府県知事が認定
(認定基準の例)
 - ・ 病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院のいずれかを運営する法人が2以上参加すること
 - ・ 医師会、患者団体その他で構成される地域医療連携推進評議会を法人内に置いていること
 - ・ 参加法人が重要事項を決定するに当たっては、地域医療連携推進法人に意見を求めることを定款で定めていること

地域医療連携推進法人の概要(平成29年度設立)

No.	名称(認定日)	医療連携推進区域/参加法人・社員	運営方針
1	尾三会 (平成29年4月2日)	<p>【医療連携推進区域】 愛知県:名古屋市(緑区、天白区、南区)、岡崎市、西尾市、豊川市、刈谷市、豊田市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町</p> <p>【参加法人】 南医療生活協同組合総合病院南生協病院(313床)、医療法人清水会相生山病院(162床)、医療法人なるみ会第一なるみ病院(130床)、医療法人コジマ会ジャパン藤脳リニク(19床)、医療法人みどり訪問クリニック、医療法人並木会 並木病院(212床)、医療法人善常会善常会リハビリテーション病院(95床)、医療法人愛整会 北斗病院(270床)、医療法人鉄友会 宇野病院(180床)、医療法人十全会 三嶋内科病院(146床)、医療法人葵 葵セントラル病院(30床)、医療法人社団福祉会 高須病院(169床)、医療法人宝美会 総合青山病院(230床)、医療法人明和会 辻村外科病院(120床)、医療法人社団同仁会 一里山・今井病院(20床)、公益財団法人 豊田地域医療センター(150床)、医療法人贈恩会 小嶋病院(299床)、医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック(19床)、医療法人 秋田病院(150床)、学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院(1435床)、社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑(100名)、社会福祉法人 あかいけ寿老会(特養50名)、医療法人名翔会和合の里(老健105床)、社会福祉法人東郷福祉会特別養護老人ホームイストグレイブ(100床)、医療法人秀麗会山尾病院(60床)、医療法人幸寿会平岩病院(60床)、社福地域福祉コミュニティほほえみ、医療法人木南舎富田病院(96床)</p> <p>【社員】 たきざわ胃腸科外科</p>	<p>①特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や医療資源(医療従事者等)の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期及び在宅医療等の充実化の促進</p> <p>②広域を担う特定機能病院と地域医療構想地域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目無く適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与</p> <p>③厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるように、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等の支援</p>
2	はりま姫路 総合医療センター 整備推進機構 (平成29年4月3日)	<p>【医療連携推進区域】 兵庫県:中播磨圏域(姫路市、福崎町、市川町、神河町)、西播磨圏域(相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町)</p> <p>【参加法人・社員】 兵庫県立姫路循環器病センター(350床) 社会医療法人製鉄記念広畑病院(392床)</p>	<p>①循環器疾患医療、救命救急センター機能等専門性の高い医療の継承及び発展</p> <p>②高度専門・急性期医療を担う医療機関として他の医療機関と協力及び連携し、地域医療ネットワークの中心的な役割を果たす</p> <p>③質の高い診療・教育・研究を行い、将来の活躍が期待される医師等が集まるリーディングホスピタルを目指す</p> <p>④疾病予防の啓発活動及び予防医学の進展に貢献</p>
3	備北メディカル ネットワーク (平成29年4月2日)	<p>【医療連携推進区域】 広島県:三次市、庄原市</p> <p>【参加法人・社員】 三次市市立三次中央病院(350床)、三次地区医師会医師会立三次地区医療センター(150床)、庄原市庄原市立西城市民病院(54床)、日本赤十字社 総合病院庄原赤十字病院(301床)</p>	<p>①安全かつ安心な医療提供体制を迫及する</p> <p>②医療従事者がやりがいをもって働くことができる環境づくりを迫及する</p> <p>③医療機関の安定的経営を迫及する</p>
4	アンマ (平成29年4月2日)	<p>【医療連携推進区域】 鹿児島県大島郡:瀬戸内町、宇検村</p> <p>【参加法人・社員】 瀬戸内町と路へき地診療所、瀬戸内町へき地診療所(19床)・瀬戸内町巡回診療車・瀬戸内町国民健康保険池地診療所(2床)、宇検村国民健康保険宇検診療所、医療法人馨和会いづはら医院(19床)、奄美医療生活協同組合南大島診療所(6床)・介護老人保健施設せとうち(60名)</p>	<p>①誰もが住み慣れた地域で自分らしく末永く暮らせるよう、地域の医療機関相互の機能の分担・連携を推進</p> <p>②質の高い医療を効率的に提供し、介護事業所等とも連携し、地域の皆様が健康で、意欲のある生活を送れるように保健・医療・福祉のイノベーションを図り、未来に責任ある2街づくりの推進</p>

地域医療連携推進法人の概要(平成30年度設立)

No.	名称(認定日)	医療連携推進区域／参加法人・社員	運営方針
5	日本海ヘルスケアネット (平成30年4月1日)	<p>【医療連携推進区域】 山形県:庄内医療圏(酒田市、鶴岡市、遊佐町、庄内町、三川町)</p> <p>【参加法人・社員】 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構:日本海総合病院(646床)、日本海酒田リハビリテーション病院(114床)等 (一社)酒田地区医師会十全堂:訪問看護ステーションスワン等 (一社)酒田地区歯科医師会:酒田地区歯科医師会 (一社)酒田地区薬剤師会:酒田地区薬剤師会 医療法人健友会:本間病院(154床)、のぞみ診療所等 医療法人山容会:山容病院(220床)、グループホームわだち 医療法人宏友会:上田診療所(6)、介護老人保健施設うらら等 社会福祉法人光風会:介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等 社会福祉法人かたばみ会:特別養護老人ホーム等</p>	<p>①参加法人間において地域に必要な診療機能、病床規模の適正化を図り、将来を見据えた医療需要に対応できるよう業務の連携を進め、地域医療構想の実現を図る</p> <p>②地域包括ケアシステムの構築を行政と共に進め、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療、介護、福祉、生活支援が提供できる取組みを進める</p> <p>③参加法人の個性、特徴を活かした相互連携を進め、優秀な人材の育成や持続可能な経営を通じて地域に貢献する</p> <p>④参加法人は、公共の福祉のために、連携推進業務の推進を図る責任を負う</p>
6	医療戦略研究所 (平成30年4月1日)	<p>【医療連携推進区域】 福島県:いわき医療圏(いわき市)</p> <p>【参加法人】 医療法人社団正風会 石井脳神経外科・眼科病院(48床)、石井正記念石井医院、介護老人保健施設 社会福祉法人正風会 ケアハウス 社団医療法人容雅会 中村病院(140床) 医療法人社団 木田医院</p>	<p>①医療法人社団正風会石井脳神経外科・眼科病院が、これまでに地域の病院や診療所との間で培った地域医療連携のノウハウを活用して地域医療連携の核となり、一般病床及び療養病床を運営する社団医療法人容雅会中村病院との有機的病床分担及び効率的に連携した運用をすることで、地域医療構想の実現に寄与</p> <p>②病院における退院時指導のみならず、入院治療の時点から居宅介護支援事業所などとの連携を図り、病院と在宅ケアサービスとの一体的運用により、効率的な医療・介護連携体制を構築</p> <p>③社会福祉法人正風会、ケアハウス小名浜をはじめとした在宅ケアサービスと、介護老人保健施設の通所及びショートステイなどの施設サービスを連動させて、多様なニーズに応える介護連携を構築</p> <p>④2病院(石井脳神経外科・眼科病院、中村病院)、2診療所(石井医院、木田医院)、ケアハウス介護老人保健施設の連携により、地域に合った医療・介護そして福祉の事業連携を構築し、地域全体に情報発信して福島県の地域モデルを創設</p>

地域医療連携推進法人の概要(平成30年度設立)

No.	名称（認定日）	医療連携推進区域／参加法人・社員	運営方針
7	房総メディカル アライアンス （平成30年12月1日）	<p>【医療連携推進区域】 千葉県：安房医療圏（南房総市、館山市、鴨川市、安房郡鋸南町）</p> <p>【参加法人】 南房総市 富山国保病院（51床） 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター（149床）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①医療介護従事者の派遣体制の整備 ②医療介護従事者の資質向上に関する共同研修 ③医薬品・医療機器の共同購入の調整、その他の物資の共同購入 ④地域包括ケアシステム構築のための機能分担や病床調整 ⑤医療資源の有効活用 ⑥連携業務における効率化

理事会のメンバー構成

尾三会：9名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	星長清隆	学校法人藤田学園 理事長	平成29年4月2日
理事	湯澤由紀夫	藤田医科大学病院 院長	平成29年4月2日
理事	小嶋真一郎	医療法人贈恩会 理事長	平成29年4月2日
理事	辻村享	医療法人明和会 理事長	平成29年4月2日
理事	藤井康	第一なるみ病院 院長	平成29年4月2日
理事	佐藤貴久	医療法人清水会 理事長	平成29年4月2日
理事	長江浩幸	総合病院南生協病院 院長	平成29年4月2日
監事	宮川秀一	公益財団法人豊田地域医療センター 理事長	平成29年4月2日
監事	三浦研	学校法人藤田学園 経理室長	平成29年4月2日

はりま姫路総合医療センター整備推進機構：7名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	木下芳一	島根大学医学部第二内科学講座 教授	平成29年4月3日
理事	八木聰	兵庫県病院事業副管理者	平成30年4月1日
理事	向原伸彦	県立姫路循環器病センター 院長	平成29年4月3日
理事	小田博則	県立姫路循環器病センター 管理局長	平成30年4月1日
理事	橘史朗	製鉄記念広畑病院 病院長	平成29年4月3日
理事	坂原康敏	製鉄記念広畑病院 事務長	平成29年4月3日
監事	今後元彦	兵庫県病院局長	平成30年4月1日

理事会のメンバー構成

備北メディカルネットワーク：5名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	中西敏夫	市立三次中央病院 院長	平成29年4月2日
理事	安信祐治	三次地区医療センター 院長	平成29年4月2日
理事	郷力和明	庄原市立西城市民病院 院長	平成29年4月2日
理事	中島浩一郎	庄原赤十字病院 院長	平成30年1月25日
監事	落合裕子	三次市会計課 課長	平成30年6月28日

アンマ：5名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	桂久和	医療法人馨和会 理事長	平成29年4月2日
理事	信友浩一	九州大学 名誉教授	平成29年4月2日
理事	元田信有	宇検村 村長	平成29年4月2日
理事	鎌田愛人	瀬戸内町 町長	平成29年4月2日
監事	川井黎子	瀬戸内町地域女性団体連絡協議会 会長	平成29年4月2日

日本海ヘルスケアネット：6名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	栗谷義樹	地独山形県・酒田市病院機構 理事長	平成30年4月1日
理事	佐藤顕	一社酒田地区医師会十全堂 会長	平成30年4月1日
理事	本間修	医療法人健友会 理事長	平成30年4月1日
理事	矢島恭一	医療法人宏友会 理事長	平成30年4月1日
理事	阿部與士男	社会福祉法人光風会 理事長	平成30年4月1日
監事	阿部満	地独山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院事務局長	平成30年4月1日

理事会のメンバー構成

医療戦略研究所：7名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	石井正三	医療法人社団正風会 理事長	平成30年4月1日
理事	石井敦子	医療法人社団正風会 副理事長	平成30年4月1日
理事	中村雅英	社団医療法人容雅会 理事長	平成30年4月1日
理事	木田光一	医療法人社団木田医院 理事長	平成30年4月1日
理事	中里迪彦	いわき市歯科医師会 元会長	平成30年4月1日
理事	小野栄重	いわき市商工会議所 会頭	平成30年4月1日
監事	鈴木良成	住吉郵便局 元局長	平成30年4月1日

房総メディカルアライアンス：5名

役職名	氏名	所属	参加時期
代表理事	亀田信介	社会福祉法人太陽会 理事長	平成30年12月1日
理事	石井裕	南房総市 市長	平成30年12月1日
理事	鈴木孝徳	南房総市立富山国保病院 病院長	平成30年12月1日
理事	福内正義	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター 院長	平成30年12月1日
監事	三亀勝弘	社会福祉法人太陽会 監事	平成30年12月1日

地域医療連携推進評議会のメンバー構成

尾三会：5名

氏名	所属	就任時期	区分
牧靖典	東名古屋医師会理事・副会長	平成29年4月2日	診療
草川昭三	公明党顧問	平成29年4月2日	医介
大林市郎	岡崎信用金庫会長	平成29年4月2日	医介
高橋元治	愛知県腎臓病協議会事務局長	平成29年4月2日	医介
今原孝	元(株)中日新聞論説委員	平成29年4月2日	学識

はりま姫路総合医療センター整備推進機構：8名

氏名	所属	就任時期	区分
山本一郎	姫路市医師会長	平成29年4月3日	診療
井上喜通	たつの市・揖保郡医師会長	平成29年4月3日	診療
大野幸一	姫路市連合自治会会長	平成29年4月3日	医介
黒川優	姫路市副市長	平成29年4月3日	その他
藤澤正人	神戸大学学長補佐	平成29年4月3日	学識
邊見公雄	赤穂市民病院名誉院長	平成29年4月3日	学識
守殿貞夫	兵庫県病院協会会長	平成29年4月3日	学識
石川誠	兵庫県民間病院協会会長	平成29年4月3日	学識

区分の例

医介：医療又は介護を受ける立場にある者

診療：診療に関する学識経験者の団体その他の関係団体

学識：学識経験を有する者その他の関係者

地域医療連携推進評議会のメンバー構成

備北メディカルネットワーク：3名

氏名	所属	就任時期	区分
宮崎義信	市立三次中央病院倫理委員会 委員	平成29年4月2日	医介
沼崎清司	公益財団法人広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター 部長	平成30年6月28日	診療
岡本貢	庄原市生活福祉部保健医療課 課長	平成29年4月2日	その他

アンマ：4名

氏名	所属	就任時期	区分
野崎義広	住用診療所 所長	平成29年8月15日	診療
登山弘	登山歯科医院 院長	平成29年8月15日	診療
河内園枝	宇検村婦人連合会 会長	平成29年8月15日	医介
政岡博重	瀬戸内町商工会 会長	平成29年8月15日	医介

日本海ヘルスケアネット：5名

氏名	職名	就任時期	区分
高橋博美	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部 部長	平成30年4月1日	その他
菊池裕基	酒田市健康福祉部 部長	平成30年4月1日	その他
土田兼史	一般社団法人鶴岡地区医師会 会長	平成30年4月1日	診療
阿部直善	社会福祉法人酒田市社会福祉協議会 会長	平成30年4月1日	医介
鎌田剛	学校法人東北公益文科大学公益学部公益学科 准教授	平成30年4月1日	学識

区分の例

医介：医療又は介護を受ける立場にある者

診療：診療に関する学識経験者の団体その他の関係団体

学識：学識経験を有する者その他の関係者

地域医療連携推進評議会のメンバー構成

医療戦略研究所：3名

氏名	所属	就任時期	区分
大和田憲司	福島労災病院 名誉院長	平成30年4月1日	学識
長谷川徳男	いわき市医師会 元会長	平成30年4月1日	診療
小野邦弘	いわき市市議会議員	平成30年4月1日	その他

房総メディカルアライアンス：8名

氏名	所属	就任時期	区分
松本良二	安房保健所	平成30年12月1日	その他
原徹	安房医師会	平成30年12月1日	診療
川崎愼一	南房総市議会	平成30年12月1日	その他
長谷川孝夫	社会福祉法人太陽会評議員会	平成30年12月1日	医介
加瀬浩一	南房総市保健福祉行政部局	平成30年12月1日	その他
熊井成和	館山市健康福祉行政部局	平成30年12月1日	その他
高梨豊美	南房総市富山地区住民代表	平成30年12月1日	医介
林吉雄	館山市館野地区住民代表	平成30年12月1日	医介

区分の例

医介：医療又は介護を受ける立場にある者

診療：診療に関する学識経験者の団体その他の関係団体

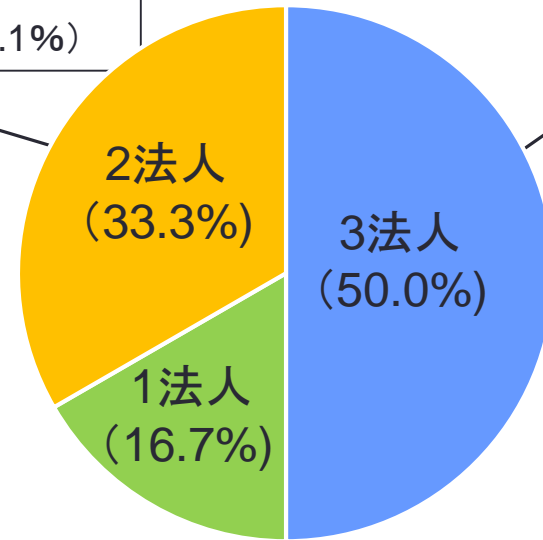
学識：学識経験を有する者その他の関係者

事業における医療連携推進業務の比率と医療推進業務以外の業務内容

* 房総メディカルアライアンスは、現時点では、法人認定を受けたのみで、実際の連携業務は2019年4月から予定しているため、除外。

日本海(医療連携業務比率55.9%)、
尾三会(医療連携業務比率51.1%)

はりま、備北、医療戦略研究所



- 100%
- 80%超100%未満
- 50%超80%未満

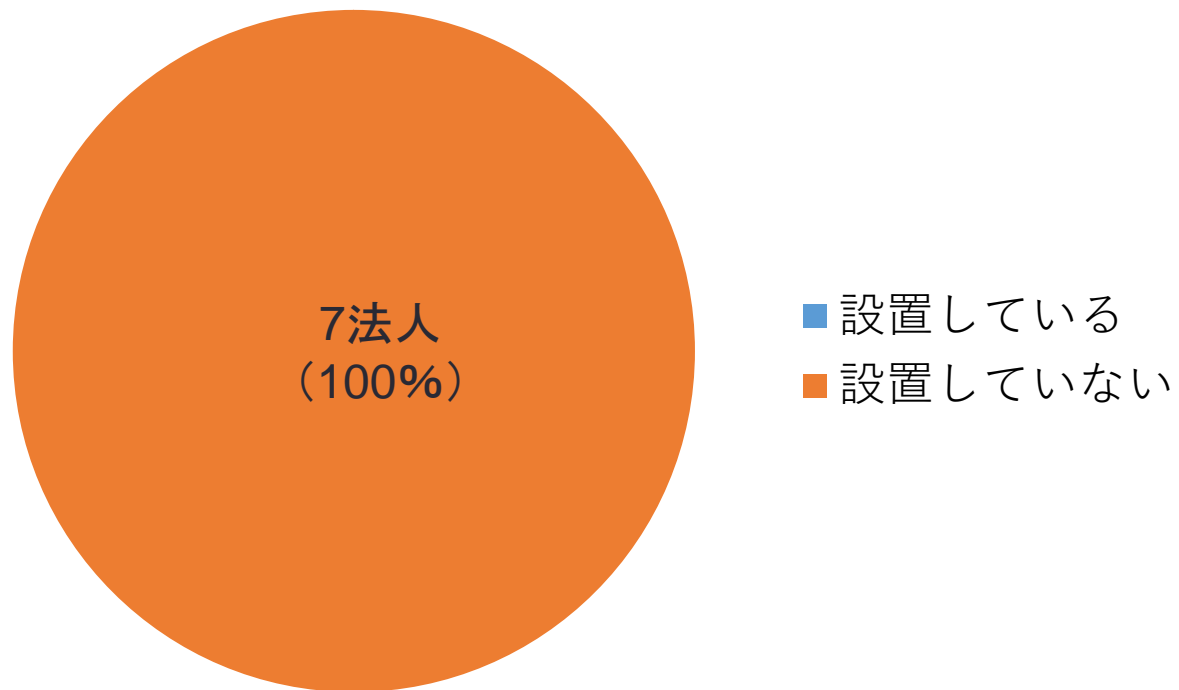
アンマ(連携業務比率83.0%)

【医療連携推進業務以外の業務】

尾三会	事務局運営業務(経理・会計、事務)、各種会の開催業務(準備、進行、報告)、各種団体からの講演依頼対応
アンマ	事務局経費
日本海ヘルスケアネット	HP開設・更新等

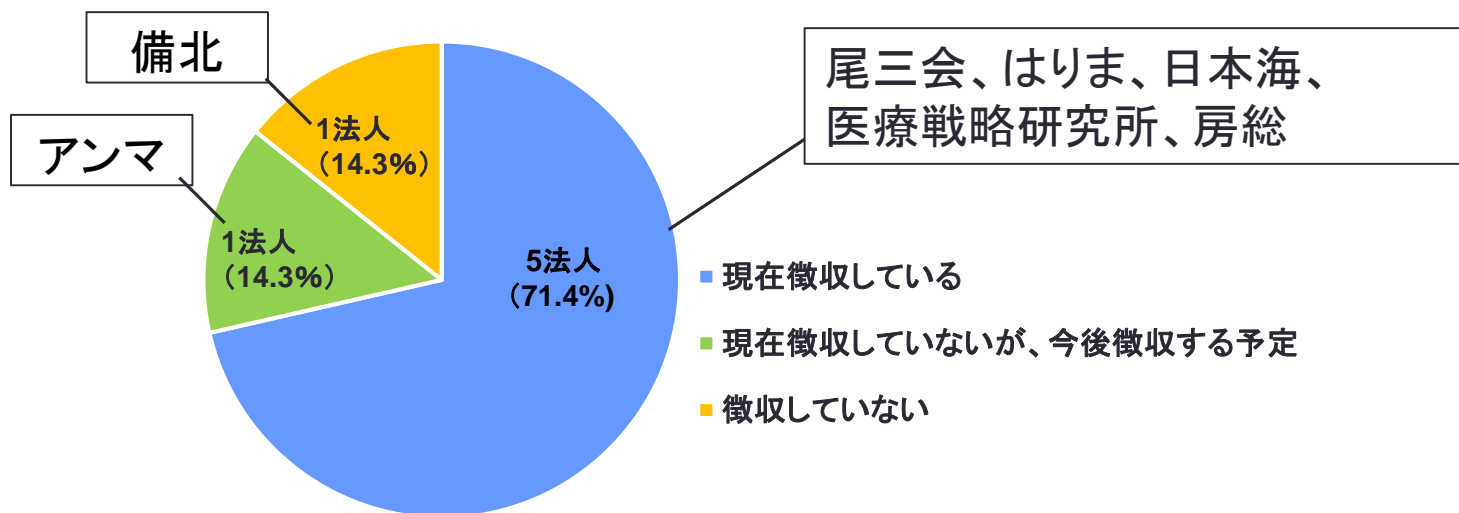
※残り3法人は該当なし

基金の設置状況



7法人とも基金を設置していない

会費の徴収



法人名	年会費額	備考
尾三会	12～60万円	・病院は病床規模により会費が異なる。 ・入会時に10万円～250万円の会費を徴収。
はりま姫路総合医療センター整備推進機構	100万円	・年度末に会費残額を均等に返還。
アンマ	15万円	・現在は徴収していない。今後徴収する予定。
日本海ヘルスケアネット	6万円	
医療戦略研究所	5～20万円	・法人により異なる。
房総メディカルアライアンス	35万円	

※会費を徴収していない法人においては、監査費用等が発生した際に、参加法人に所要額を請求。

実施中又は今後実施予定の業務

人材派遣・人事交流・共同研修

業務項目	計	うち、	
		実施中	実施予定
従事者の派遣・人事交流	27件	12件	15件
うち、医師	6件	4件	2件
うち、看護師	7件	3件	4件
うち、その他の医療従事者	6件	1件	5件
うち、介護従事者	3件	1件	2件
うち、事務職	5件	3件	2件
従事者の共同研修	32件	24件	8件
うち、医師	7件	5件	2件
うち、看護師	7件	5件	2件
うち、その他の医療従事者	7件	5件	2件
うち、介護従事者	5件	4件	1件
うち、事務職	6件	5件	1件

病床融通・病床変動

業務項目	計	うち、	
		実施中	実施予定
病床に関する変動	3件	0件	3件
病床機能の見直し	3件	0件	3件
病床の融通	5件	0件	5件
病床過剰地域における融通	2件	0件	2件
病床数の合計（不変）	0件	0件	0件
病床数の合計（減少）	3件	0件	3件
その他	2件	2件	0件

実施中又は今後実施予定の業務一覧（法人ごとの内訳）

法人名称	実施中の業務／今後実施予定の業務														
	従事者の派遣・人事交流					従事者の共同研修					病床に関する変動	病床の融通			その他
	医師	看護師	その他医療	介護従事者	事務職	医師	看護師	その他医療	介護従事者	事務職	病床機能の見直し	病床過剰地域における融通	病床数の合計（不変）	病床数の合計（減少）	
尾三会	○	●				○	○	○	○	○					○
はりま姫路総合医療センター整備推進機構	○	●	●		○	○	○	○		○	●	●		●	
備北メディカルネットワーク	○	○	●		●	○	○	○	○	○				●	
アンマ	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○					
日本海ヘルスケアネット	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●		●		●	○
医療戦略研究所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●				
房総メディカルアライアンス	●	●	●			●	●	●			●				

○：実施中の業務

※房総メディカルアライアンスは2018年12月1日設立のため、実施中の業務はない。

●：今後、実施予定の業務

各連携法人において実施中の業務内容

人材派遣・人事交流

尾三会	<ul style="list-style-type: none"> 参加法人の希望により、当会から藤田医科大学病院へ依頼し、特に必要性の高い施設に対し、医師を行かせている。 																																													
はりま姫路総合医療センター整備推進機構	<ul style="list-style-type: none"> 診療支援等のため、姫路循環器病センターから製鉄記念広畑病院へ医師を7名派遣。 また、事務職については、兵庫県職員を製鉄記念広畑病院へ派遣。 																																													
備北メディカルネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 医師の人事交流：市立三次中央病院から庄原赤十字病院、三次地区医療センターへの診療支援 看護師の人事交流：庄原赤十字病院の助産師の受け入れ 																																													
日本海ヘルスケアネット	<ul style="list-style-type: none"> 本間HPへの医師（日当直医）の派遣増【H29.4～実施】 訪問看護ステーションへの看護師（1名）の派遣開始【H29.8～実施】 派遣の形態、給与等の調整及び協定等の検討【H29.8～実施】 不足する職種の相互補完、人材育成の相互派遣【H29.8～実施】 各参加法人の採用計画、不足する職種等の共有【H30.6実施】 退職予定者への（参加法人）職員募集状況の情報提供【H30.7～実施】 <table border="1" data-bbox="446 1011 1599 1353"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>病院機構</td> <td>医師</td> <td>2名</td> <td>平日診療応援</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>病院機構</td> <td>事務</td> <td>1名</td> <td>日本海総合病院</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>医師</td> <td>2名</td> <td>土日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>光風会</td> <td>医師</td> <td>1名</td> <td>産業医</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>看護師</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>光風会</td> <td>看護師</td> <td>1名</td> <td>老健</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>医師会</td> <td>看護師</td> <td>2名</td> <td>訪問看護</td> </tr> </tbody> </table>	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	病院機構	医師	2名	平日診療応援	医師会	病院機構	事務	1名	日本海総合病院	病院機構	健友会	医師	2名	土日の宿日直	病院機構	光風会	医師	1名	産業医	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	看護師	3名	診療所、老健	病院機構	光風会	看護師	1名	老健	病院機構	医師会	看護師	2名	訪問看護
出向元	出向先	職種	人数	備考																																										
健友会	病院機構	医師	2名	平日診療応援																																										
医師会	病院機構	事務	1名	日本海総合病院																																										
病院機構	健友会	医師	2名	土日の宿日直																																										
病院機構	光風会	医師	1名	産業医																																										
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																																										
病院機構	宏友会	看護師	3名	診療所、老健																																										
病院機構	光風会	看護師	1名	老健																																										
病院機構	医師会	看護師	2名	訪問看護																																										

各連携法人において実施中の業務内容

共同研修

<p>尾三会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われる<u>セミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化</u>することや、藤田医科大学包括ケア中核センターを中心に、<u>回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修</u>を実施した。 ・ 尾三会主導による<u>医療・介護従事者向けの尾三会研修会</u>を開催した。 ・ 地域包括ケアシステム構築の一環として、<u>認定看護師の出張講義及び演習</u>を始めた。
<p>はりま姫路総合医療センター 整備推進機構</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年3月、新統合病院の新たな<u>看護部づくり研修</u> ・ 平成30年4月、<u>胃がん治療</u>について ・ 平成30年6月、<u>急性期病棟</u>における<u>P F Mの導入</u>
<p>備北メディカルネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>若手医師の共同研修</u>（テレビ会議利用） ・ <u>感染症・新型インフルエンザ等の共同研修</u> ・ <u>医療事故対策</u>等の共同研修
<p>アンマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医師</u>については、参加法人所属による<u>共同勉強会</u>を開催。 ・ <u>看護師等</u>の職員については、<u>連携法人Eラーニング</u>により、研修を実施し<u>対面方式による共同研修会</u>を開催。
<p>医療戦略研究所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>いわき脳卒中地域連携</u>研究会（年3回開催） ・ <u>合同研究発表会</u>（年1回開催） ・ <u>医療・介護連携実務者</u>会議 ・ <u>電子カルテ研修</u>（事務・看護師）

各連携法人において実施中の業務内容

その他

尾三会

- ・ 患者情報の共有化、医薬品の共同購入、医療機器等の共同購入、自動車リース、医療事故調査等に関する業務の連携。
- ・ 患者情報の電子的共有化の先駆けとして、藤田医療情報ネットワークへの登録を全参加施設に促した。
- ・ 平成29年10月より 医薬品の一括価格交渉を開始した。
- ・ グループ内施設が共通で購入する 比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施した。また、価格交渉の対象範囲を拡大した。
- ・ 医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断(Ai)等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにした。

日本海ヘルス
ケアネット

○地域フォーミュラリー

- ・ フォーミュラリーについての意見交換会【H30.7～実施】
 - 医師会、薬剤師会、病院機構での意見交換
- ・ 地域フォーミュラリーに係る基礎データの収集、分析【H30.7～調整中】
 - 国保連、後期高齢者連合、協会けんぽ等への協力依頼
- ・ フォーミュラリー講演会、説明会等【H30.8～実施】
 - 講師：東京大学 今井教授 他
- ・ 地域フォーミュラリーの作成・実施【H30.11～実施】
 - 地域フォーミュラリー協議会、作成委員会等

各連携法人にて今後実施予定の業務内容

人材派遣・人事交流

尾三会	・ 来年度より <u>看護師の在籍出向</u> を実施する予定。
はりま姫路総合医療センター 整備推進機構	・ <u>医師・看護師以外の多職種で人事交流</u> を行って地域の医療現場での課題を検討。
備北メディカル ネットワーク	・ <u>医師は共同で各参加法人診療所の宅直</u> を行うことで、負担軽減を図る。 ・ <u>看護師等は訪問看護実施時在籍出向</u> 等を行い、看護師負担の軽減とサービス向上を目指す。
房総メディカル アライアンス	・ 社会福祉法人太陽会から、南房総市へ <u>理学療法士を派遣</u> 。

共同研修

日本海ヘルスケアネット	<u>各法人で実施している職員研修</u> について、 <u>共同で実施</u> 。
-------------	--

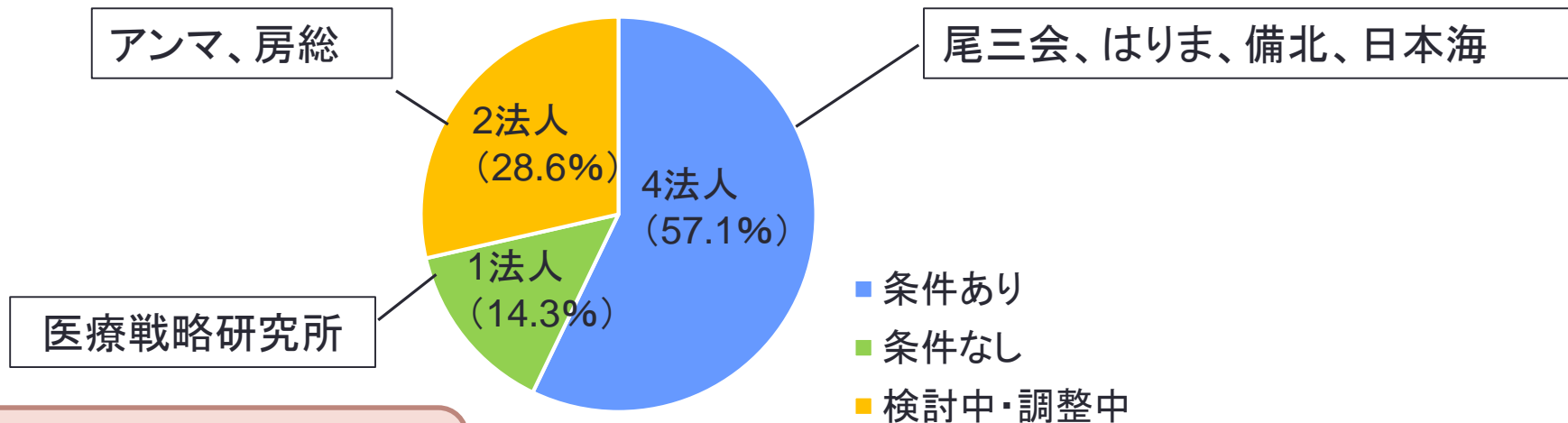
各連携法人にて今後実施予定の業務内容

病床に関する変動・病床の融通

<p>はりま姫路総合医療センター 整備推進機構</p>	<p>(現行) <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立姫路循環器病センター 330床 ・ 製鉄記念広畑病院 392床 (統合後) <ul style="list-style-type: none"> ・ 新病院 720床 ※上記に精神病床16床を加えて736床で計画。 </p>
<p>日本海ヘルスケアネット</p>	<p>・ 日本海総合病院で休床（急性期）している4病床を慢性期病床が不足する他病院へ融通する。地域医療構想においても急性期病床が過剰、慢性期が不足とされているので、構想にも合致する。 ※まだ構想段階。</p>
<p>医療戦略研究所</p>	<p>・ 介護療養病棟から介護医療院への変更を検討中。</p>
<p>房総メディカル アライアンス</p>	<p>・ 南房総市富山国保病院の一般病床（急性期）を地域包括ケア病床（回復期）に機能転換する。</p>

連携法人内での医療従事者の派遣

条件の有無

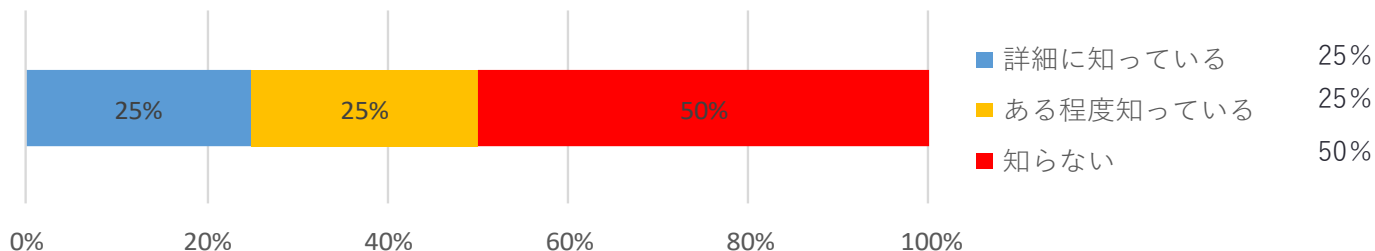


条件ありの場合の条件

尾三会	<ul style="list-style-type: none"> 条件の詳細は検討中。
はりま姫路総合医療センター 整備推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○給与の条件 <ul style="list-style-type: none"> 派遣元の給与の基準を下回らないことを条件として、派遣先の関係規程を適用し、派遣先が給与を支払う。 ○サービスの条件 <ul style="list-style-type: none"> 派遣先の関係規程を適用する。
備北メディカル ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 医師派遣：診療支援について協定を交わして行っている。 勤務者が人事異動する場合は、賃金は派遣元で原則支給、時間外等の賃金は派遣先の医療機関で負担。
日本海ヘルスケアネット	<ul style="list-style-type: none"> 医師の派遣：医師本人に報酬が支払われる。 看護師等の在籍型出向：法人間での協定書の締結。

各連携法人の地域医療構想区域における活動の認知状況

【尾三会／愛知県・医師会】



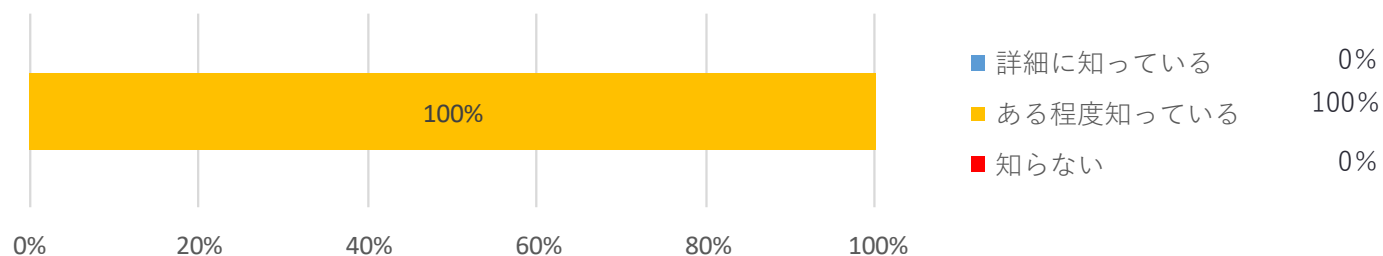
詳細に知っている……東名古屋医師会（※）、愛知県医師会

ある程度知っている…西尾市医師会、愛知県

知らない……………東名古屋医師会（※）、豊川市医師会、名古屋市医師会、豊田加茂医師会

※東名古屋医師会は、複数の異なる回答があったため、双方を集計。

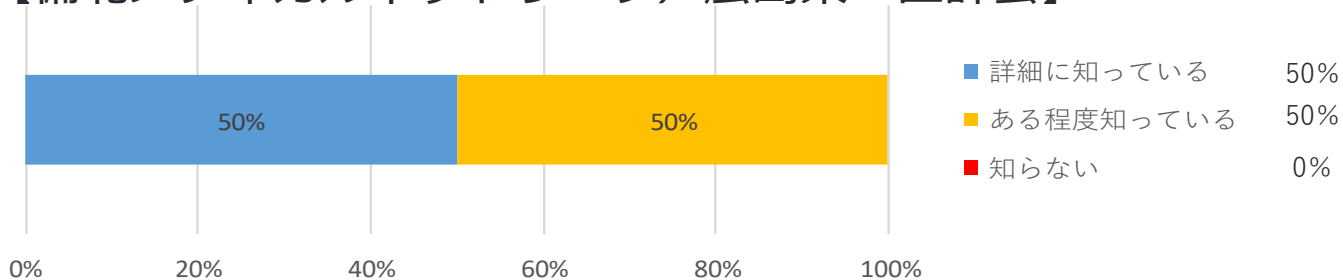
【はりま姫路総合医療センター整備推進機構／兵庫県・医師会】



ある程度知っている…たつの市揖保郡医師会、兵庫県赤穂郡医師会、姫路市医師会、兵庫県

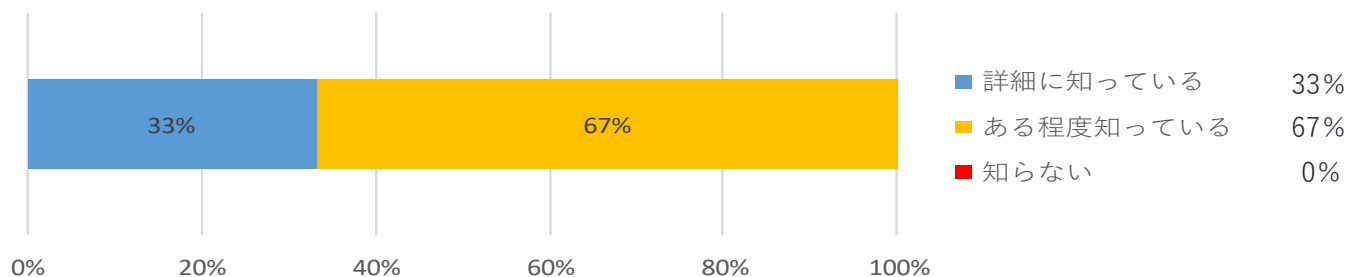
各連携法人の地域医療構想区域における活動の認知状況

【備北メディカルネットワーク／広島県・医師会】



詳細に知っている……広島県
ある程度知っている…広島県医師会

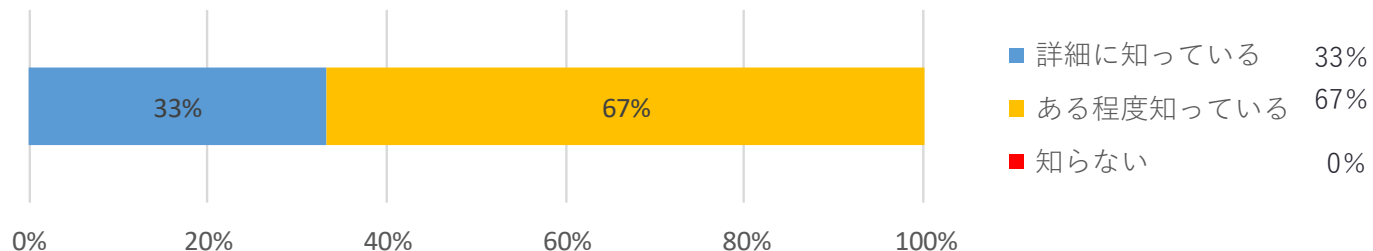
【アンマ／鹿児島県・医師会】



詳細に知っている……大島郡医師会
ある程度知っている…鹿児島県医師会、鹿児島県

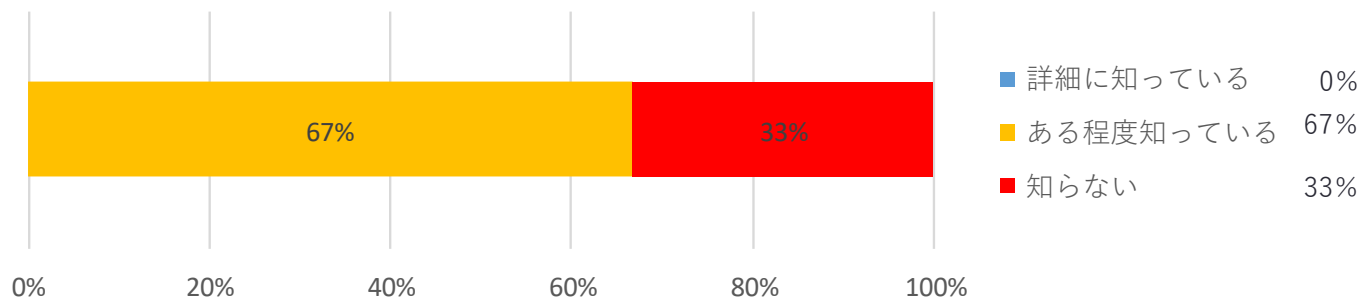
各連携法人の地域医療構想区域における活動の認知状況

【日本海ヘルスケアネット／山形県・医師会】



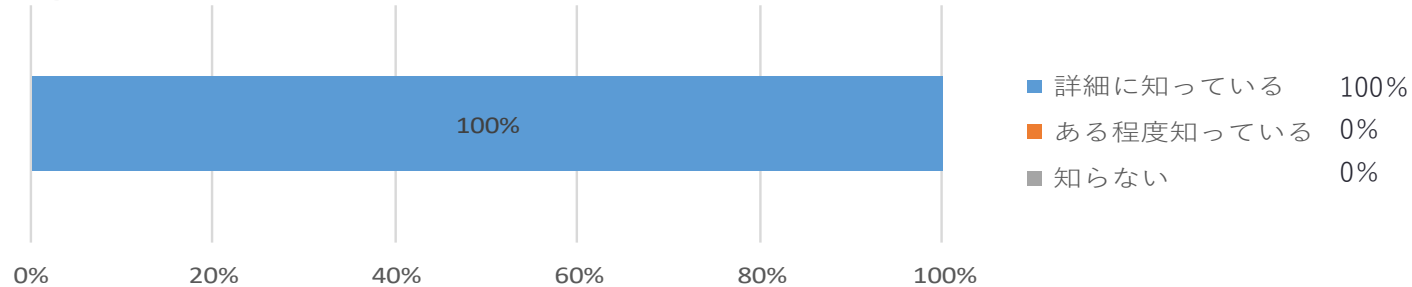
詳細に知っている……山形県酒田地区医師会十全堂
ある程度知っている…山形県、山形県医師会

【医療戦略研究所／福島県・医師会】



ある程度知っている…福島県、福島県医師会
知らない……いわき市医師会

【房総メディカルアライアンス／千葉県・医師会】

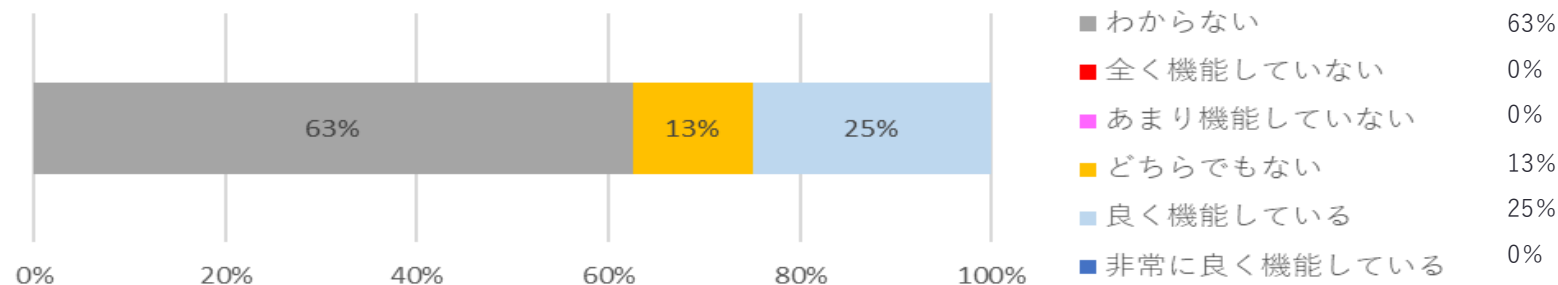


詳細に知っている……千葉県

地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価

【尾三会／愛知県・医師会】

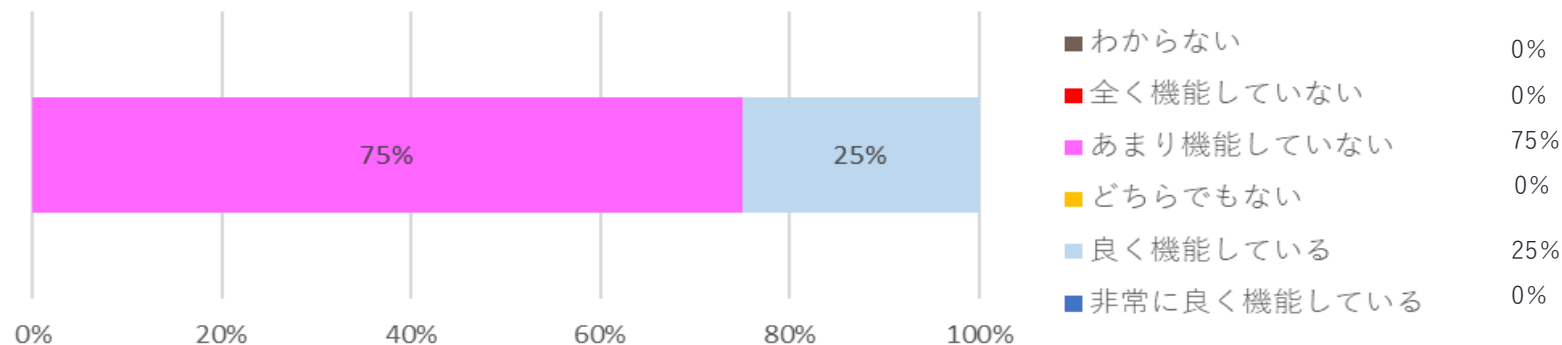
* 房総メディカルアライアンスは、2018年12月に認定されているため除外。
* 端数処理の関係上、各法人の割合の合計が100%にならない場合がある。



- ・ わからない：東名古屋医師会（※）、西尾市医師会、豊川市医師会、豊田加茂医師会、愛知県
- ・ どちらでもない：名古屋市医師会
- ・ 良く機能している：東名古屋医師会（※）、愛知県医師会

※東名古屋医師会は、複数の異なる回答があったため、双方を集計。

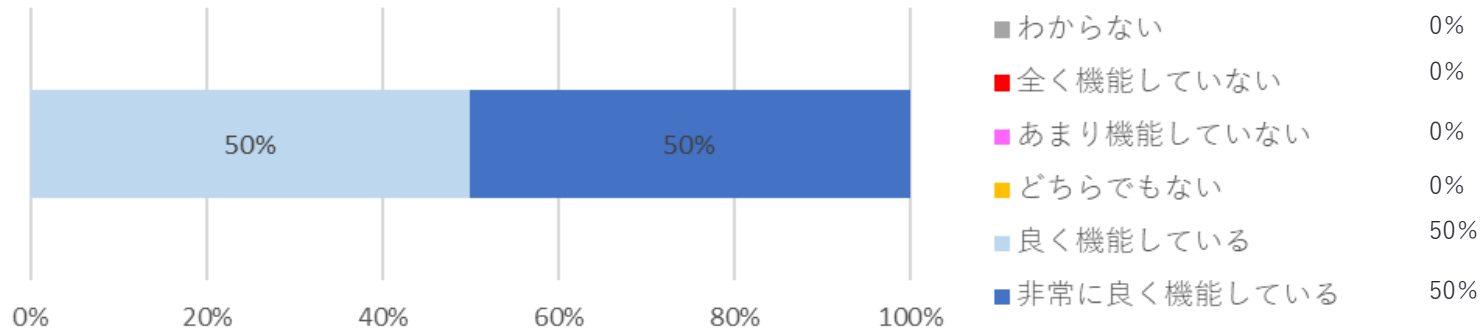
【はりま姫路総合医療センター整備推進機構／兵庫県・医師会】



- ・ あまり機能していない：たつの市揖保郡医師会、赤穂郡医師会、姫路市医師会
- ・ 良く機能している：兵庫県

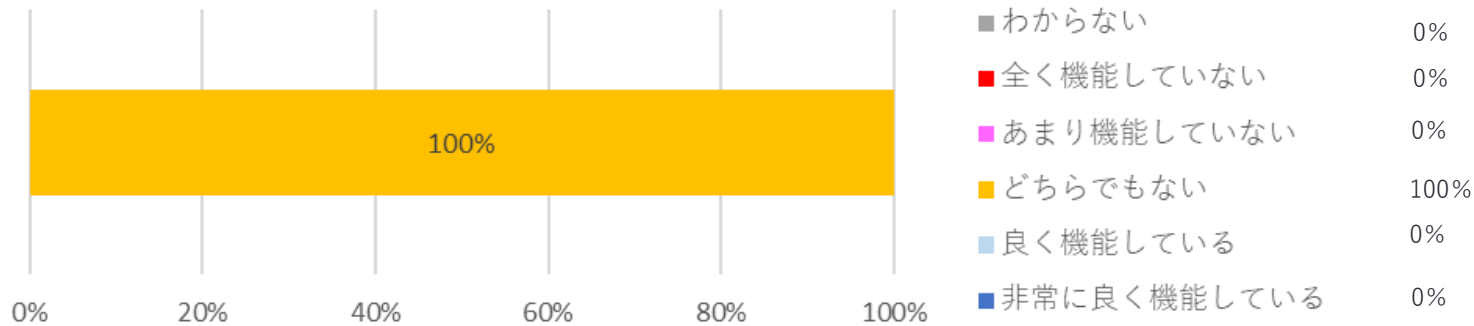
地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価

【備北メディカルネットワーク／広島県・医師会】



- ・ 良く機能している：広島県
- ・ 非常に良く機能している：広島県医師会

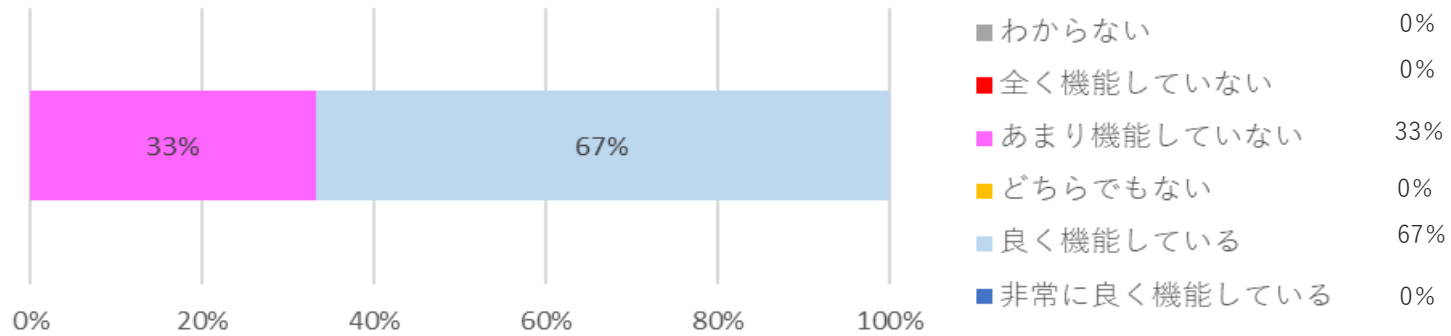
【アンマ／鹿児島県・医師会】



- ・ どちらでもない：鹿児島県医師会、大島郡医師会、鹿児島県

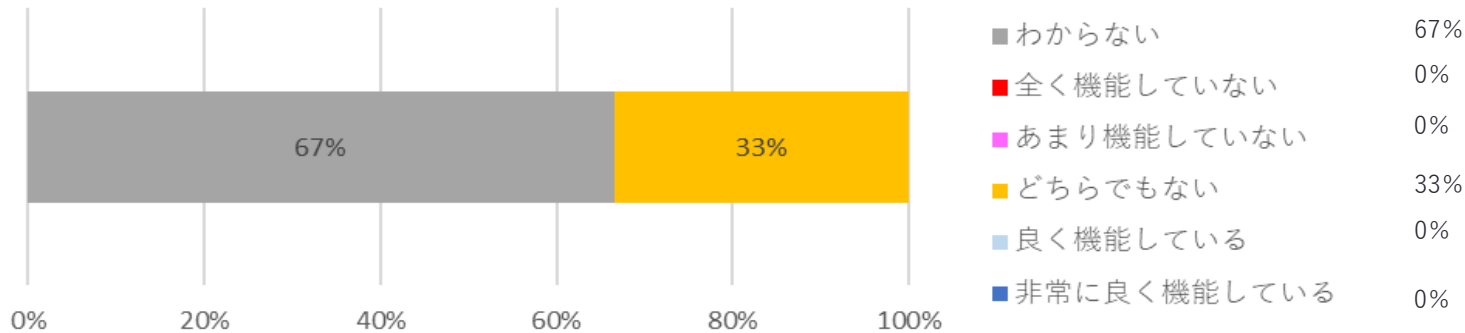
地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価

【日本海ヘルスケアネット／山形県・医師会】



- ・あまり機能していない：酒田地区医師会十全堂
- ・良く機能している：山形県、山形県医師会

【医療戦略研究所／福島県・医師会】



- ・わからない：いわき市医師会、福島県医師会
- ・どちらでもない：福島県

地域医療構想達成に向けた取組状況とそれに対する評価

【尾三会/愛知県・医師会】

※東名古屋医師会は、複数の異なる回答があったため、双方を集計。

取組状況

各施設を訪問し地域のニーズと現状について、意見を伺っている。
その中で共通する患者の流れ、急性期から在宅までの円滑化、医療介護スタッフへの教育を進めることにより、地域医療構想に貢献していると考える。

- ・尾三会主導による医療・介護従事者向けの**尾三会研修会の開催**
- ・藤田あんしんネットワークによる**医療の安全・質の向上**を目指した**セミナーの開催**
- ・**患者転院の円滑化**を目的とした意見交換会や検討会を開催、**各施設の空床状況がわかるシステムの構築**
- ・認定看護師の出張講演、演習指導等の講師派遣
- ・藤田医療情報ネットワークの拡大による**医療情報の共有化**
- ・**人事交流**を目的としたニーズ調査、来年度より**看護師の在籍出向**を実施する予定

地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価

- (1)良く機能していると評価した理由

 - ・会員である藤田医科大学病院が主催する**研修会**等へ昨年度は22法人延べ272名の参加、今年度（11月現在）は18法人123名の参加があった。また、依頼のあった施設へ**認定看護師が講師として赴き研修会**を行った。（愛知県医師会）
 - ・**連携推進法人が主催する「認知症ケアにおける身体拘束について」のセミナーを開催**し、施設の看護師、介護士等多くの参加があった。（愛知県医師会）
 - ・藤田医科大学が運営する「藤田あんしんネットワーク」へ参加し、**医療事故に関する**対応や、医療安全および院内感染に対する教育・相談、医療事故調査委員会の設置運営への協力などの**支援体制が整えられている**。（愛知県医師会）
 - ・**患者受入れ態勢の強化として、空床状況閲覧システムの構築**に向けて検討会開催や意見交換会が開催された。（愛知県医師会）
 - ・**診療情報の共有化を目指し**、その先駆けとして、参照システムである「**藤田医療情報システム（ID-Link）**」への参加を促し**順次システムの設置、設定**を行っている。（愛知県医師会）
 - ・**経営効率化**に向けての事業として、医療機器の共同購入、薬剤一括価格交渉、カーリース事業などがある。（愛知県医師会）
 - ・**評議員として参加**（東名古屋医師会）
- (2)どちらでもないと評価した理由

 - ・特定機能病院である藤田医科大学病院が中心となり、他の**グループ内施設が連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担っている**。しかし、**主に愛知県東部地域（三河地域）で活動のため、名古屋市医師会は関与しておらず、具体的なことを把握してない**。（名古屋市医師会）
- (3)わからないと評価した理由

 - ・**具体的な事例報告がない**（東名古屋医師会）
 - ・**未だ詳細不明**である（西尾市医師会）
 - ・1つの病院が連携法人に参加しているが、**医師会と関連する事業はない**。（豊川市医師会）
 - ・**活動について知らない**ので回答できない。（豊田加茂医師会）
 - ・連携法人は、当該法人の定めた連携方針に沿った取組を行っているところであるが、当該取組に関して、**地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価を行うための具体的な指標等がないため、現時点における評価は困難**である（愛知県）

地域医療構想達成に向けた取組状況とそれに対する評価

【はりま姫路総合医療センター整備推進機構/兵庫県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p>兵庫県立姫路循環器病センターと社会医療法人製鉄記念広畑病院（以下「両病院」という。）の<u>統合再編までの間、両病院相互間の機能の分担及び業務の連携を推進し、統合再編を円滑に行い、播磨姫路圏域において質の高い効率的な医療提供体制を確保</u>することを目的とする。（新病院は、2022年度上期の開院を予定）</p>	<p>(1)良く機能していると評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>統合再編</u>に向けた事務作業が良く機能している。（兵庫県） ・ <u>病床融通による病床機能再編</u>が良く機能している。（兵庫県） <p>(2)あまり機能していないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>当法人が新合併病院の開設のために設けられている</u>（たつの市揖保郡医師会） ・ 現在、<u>構想中だが実現していない</u>（赤穂郡医師会） ・ <u>当法人は新合併病院の開設の準備のために設けられた</u>ため。定款の中でも、開設目的として統合再編までの間、両病院相互間の機能の分担及び業務の連携を推進し、統合再編を円滑に行い、中播磨・西播磨圏域において質の高い効率的な医療提供体制を確保することを目的とする（姫路市医師会）

【備北メディカルネットワーク/広島県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p>当法人は<u>当該地域医療構想区域（備北二次医療圏）の急性期を担っているすべての医療機関が参加している。各医療機関が2025年の改革プランを示しており、地域での枠割り分担を既に決めている。</u>地域医療構想は当法人と療養病床を持っている民間医療機関での調整のみでほぼ課題は解決している。</p>	<p>(1)非常に良く機能している、良く機能していると評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>同法人の理念や運営方針がまさに地域医療構想の推進そのもの</u>にあるため。（広島県医師会） ・ <u>医療機関相互の業務連携の推進、効率的で地域完結型の医療提供体制を目指している。</u>そのため、<u>圏域内の公立・公的病院が法人に関与しており、各医療機関の機能分化・連携が本県内でもいち早く明確化されている</u>ため。（広島県医師会） ・ <u>圏域内の調整会議の議論もスムーズに行われており、医療人材などを含めて地域包括ケアシステム全体を見据えた協議が実現できている</u>ため。（広島県医師会） ・ 初期診療セミナー、医師の学会研修参加補助、医師・看護師の人事交流といった<u>医療従事者を確保・育成する仕組みづくり</u>が行われている。（広島県）

地域医療構想達成に向けた取組状況とそれに対する評価

【アンマ/鹿児島県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p>本法人は、奄美保健医療圏にあります。<u>奄美大島南部の宇検村・瀬戸内町を連携地域として、奄美大島の「医療のサブ拠点」として救急を担いつつ初期の医療を主とし、地域完結型医療を目指しています。</u></p> <p>現在、医療構想会議に宇検村・瀬戸内町の行政単位で出席していますが、「<u>離島・へぎ地・さらに離島を抱える</u>」という特殊な地域となっていますので、<u>単一行政ではできない、連携による提案を行い、地域にマッチした、より現実的な構想実現に貢献</u>できると考えています。</p>	<p>(1)どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>連携法人の対象区域が、限られている</u>（構想区域の一部町村）。現時点では、<u>病床機能の分化・連携の取組みは行われていない</u>(鹿児島県医師会) ・<u>対象区域が一部の町村（瀬戸内町と宇検村）に限られていることと、現段階では、診療所（有床3、無床1）のみが参加し、当該区域の病院が参加していないから</u>(大島郡医師会) ・現在は、医療従事者の研修会などの取組を行っているところ、今後、医療連携推進方針に基づいた活動が一層推進されていくことを期待(鹿児島県)

【日本海ヘルスケアネット/山形県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p>これまで、地域の関係機関の連携の必要性については、誰もが認識していましたが、実際に形になって実行するには至っていませんでした。</p> <p>また、行政が開く地域の協議会がありますが、個々の課題について行政が主導して調整することも難しいのが実情でした。</p> <p>地域医療連携推進法人ができたことにより、<u>地域フォーミュラリーなど法人設立前には想定していなかった地域の課題への取組みが、具体的に動きだしています。</u>また、これまで<u>単独の法人では取り組めなかった課題を連携推進法人を使って解決しようという色々なアイデアが参加法人から出て来るようになりました。</u></p> <p>このように<u>個々の参加法人の経営の可能性が拡大</u>することで、<u>今後の厳しい時代を乗り越えることのできる地域になれればと期待</u>しているところです。</p> <p>地域医療連携推進法人を実際やってみると、<u>メリットもありますが、参加法人が連携推進法人に対して意見徴収を求めなければならない事項も多く参加法人の経営決断を遅らせてしまうという様なデメリットもあります。</u></p> <p>現在の地域医療連携推進法人の制度は、<u>メリット云々ではなく、地域医療構想実現のための地域連携のひとつの手法</u>であると考えます。</p>	<p>(1)良く機能していると評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>参加法人間における高額医療機器の効率的配置・共同利用の検討や、維持透析機能などの機能集約化、医師や看護師の派遣による人事交流等、地域医療連携を積極的に進めている</u>(山形県) ・<u>地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療への円滑な移行に向けた退院支援・退院調整ルールづくり等が進められている</u>(山形県) ・<u>連携法人内での病院間、病院と介護施設間の連携として期限付きの人的交流が始まっており、成果を上げている。</u>そのほかいくつかのプロジェクトが動いており、<u>今後具体的な成果が期待される</u>(山形県医師会) <p>(2)あまり機能していないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>連携推進法人内でのベッドの転換（急性期⇒回復期）を提案しているがなかなかスムーズに意思決定ができない現状</u>がある(酒田地区医師会十全堂)

地域医療構想達成に向けた取組状況とそれに対する評価

【医療戦略研究所/福島県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p>いわき脳卒中地域連携研究会設立から10年を経て、<u>地域の病院や診療所</u>の間で培った<u>地域医療連携のノウハウ</u>を活用し、医療法人社団 正風会 石井脳神経外科・眼科病院を、地域医療の核として、社団医療法人容雅会 中村病院、医療法人社団 木田医院との<u>有機的病床分担及び地域包括ケアにおける効率的に連携した運用</u>をすることで、<u>地域医療構想の実現に寄与</u>する。</p>	<p>地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価</p> <p>(1)わからないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域医療構想調整会議では、主要な病院の医療構想について検討されているほか、数件の介護医療院の開設計画について検討</u>されている。この中には、当該の地域医療連携推進法人に参加している中村病院も含まれている(いわき市医師会) ・<u>当該地域における地域医療構想は、現在、調整会議等により策定している最中であり、連携法人に限らず構想区域内の全ての病院がまだ役割が明確になっていない状況</u>である。(福島県医師会) <p>(2)どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>連携法人内で各種検討を進めているが、具体的な取組はまだできていないと聞いている</u>ため、現段階では評価できない。(福島県)

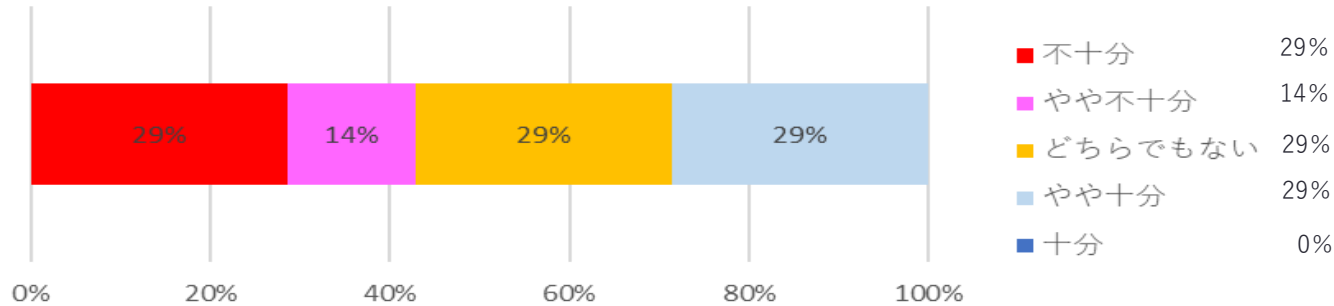
【房総メディカルアライアンス/千葉県・医師会】

取組状況	地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価
<p><u>区域における必要病床数と病床機能報告の結果との比較によると、急性期病床が過剰で回復期病床が不足</u>となる。<u>2019年4月から社会福祉法人太陽会から南房総市へ人材を派遣し、南房総市富山国保病院の一般病床(急性期)を地域包括ケア病床(回復期)に機能転換</u>することを計画している。<u>過剰病床と不足病床の解消になり、地域医療構想の達成に寄与</u>している。</p>	<p>地域医療構想の達成に向けて果たしている機能に対する評価</p> <p>-</p>

県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

【尾三会／愛知県・医師会】

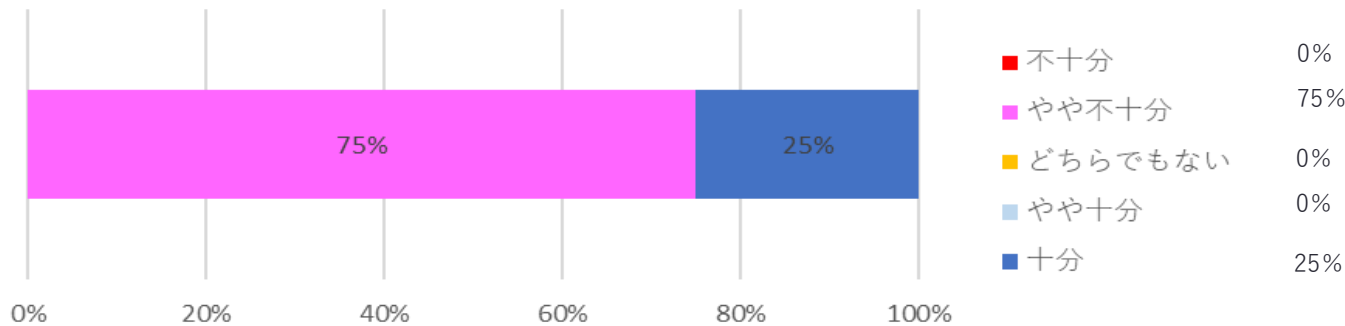
* 端数処理の関係上、各法人の割合の合計が100%にならない場合がある。



- ・ 不十分：東名古屋医師会（※）、西尾市医師会
- ・ やや不十分：愛知県
- ・ どちらでもない：豊川市医師会、名古屋市医師会
- ・ やや十分：東名古屋医師会（※）、愛知県医師会

※東名古屋医師会は、複数の異なる回答があったため、双方を集計。

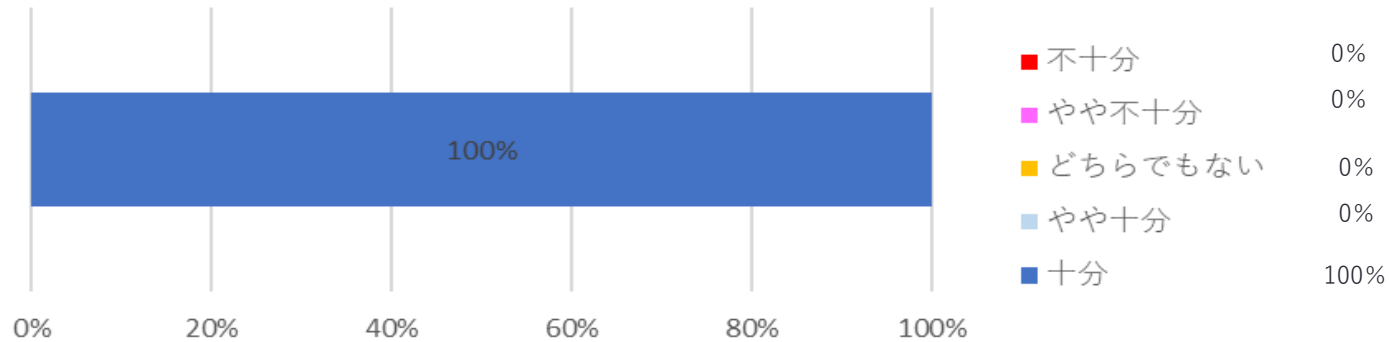
【はりま姫路総合医療センター整備推進機構／兵庫県・医師会】



- ・ やや不十分：たつの市揖保郡医師会、赤穂郡医師会、姫路市医師会
- ・ 十分：兵庫県

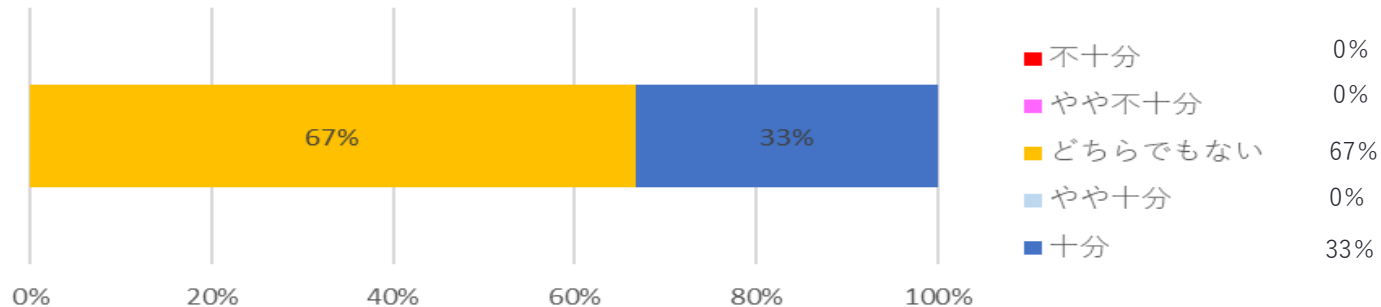
県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

【備北メディカルネットワーク／広島県・医師会】



- ・ 十分：広島県医師会、広島県

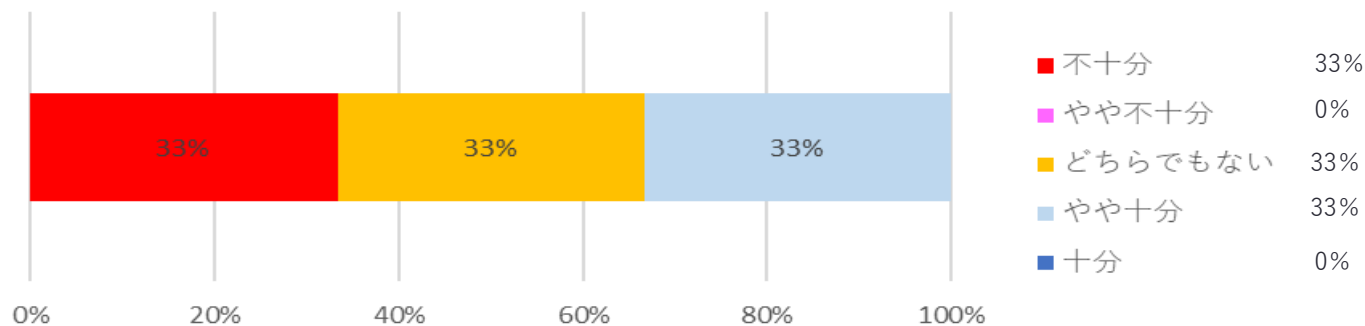
【アンマ／鹿児島県・医師会】



- ・ どちらでもない：鹿児島県医師会、鹿児島県
- ・ 十分：大島郡医師会

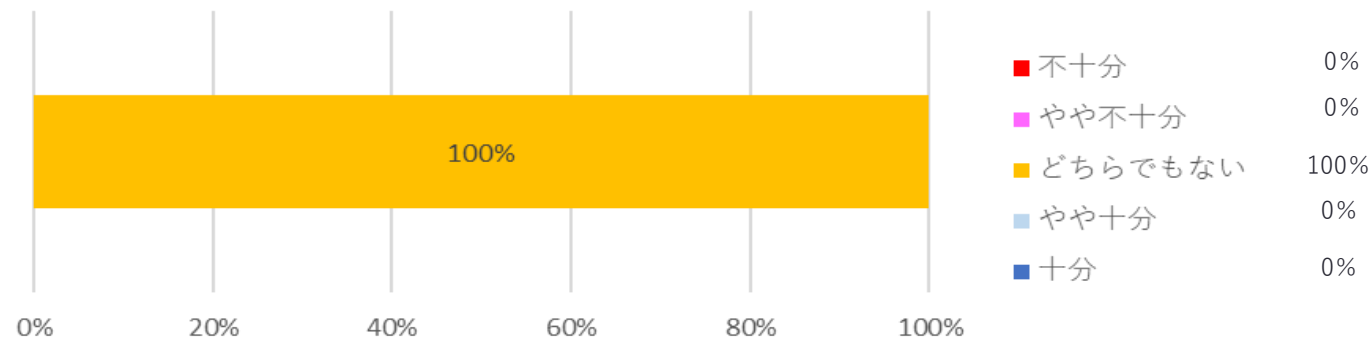
県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

【日本海ヘルスケアネット／山形県・医師会】



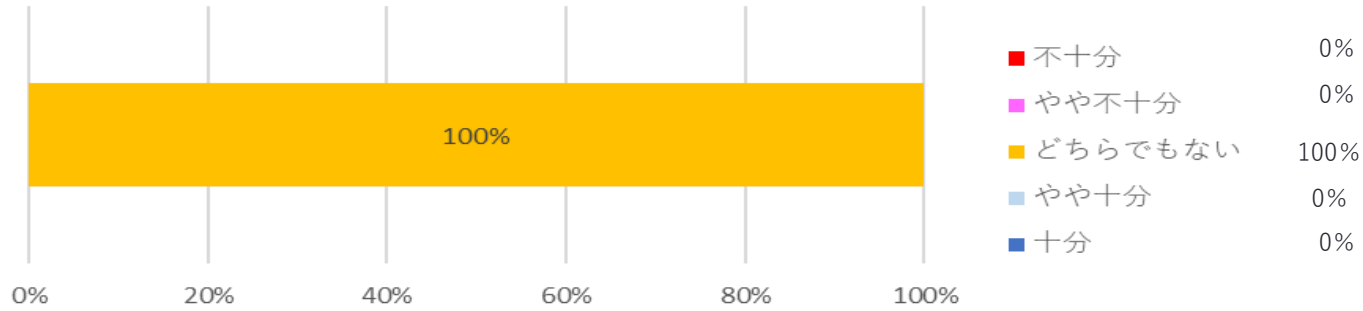
- ・ 不十分：山形県医師会
- ・ どちらでもない：酒田地区医師会十全堂
- ・ やや十分：山形県

【医療戦略研究所／福島県・医師会】



- ・ どちらでもない：福島県医師会、福島県

【房総メディカルアライアンス／千葉県】



・ どちらでもない：千葉県

県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

※東名古屋医師会は、複数の異なる回答があったため、双方を集計。

地域医療連携推進法人	県・県医師会・地区医師会
<p>【尾三会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>県医師会の役員が評議会の構成員に就任</u>している。 	<p>(1) やや十分と評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地区医師会代表が評議員として参加</u>(東名古屋医師会) ・ <u>地域医師会の役員が評議会の構成員に就任</u>している。<u>今後、県医師会との密接な連携をさらに強化</u>する。(愛知県医師会) <p>(2) 不十分・やや不十分と評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尾三会においては、<u>評議会の構成員に地域医師会の役員が1名就任しているが、尾三会の医療連携推進区域は7つの地域医療構想区域(13市町)にまたがっており、県医師会やすべての関係地域医師会の役員等が評議会の構成員に就任しているものではない</u>(愛知県) ・ <u>具体的情報が入らないのでわからない</u>(東名古屋医師会) ・ <u>全く接触がない</u>(西尾市医師会) <p>(3) どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの病院が地域医療連携推進法人尾三会に参加しているが、大学病院を中心とした法人で、病院間の連携はあるが<u>当地域での活動はないため、医師会としては評価ができない</u>(豊川市医師会) ・ 「地域医療連携推進法人尾三会」は、主に愛知県東部地域(三河地域)で活動のため名古屋市医師会は関与しておらず、<u>具体的なことを把握してない</u>(名古屋市医師会) ・ <u>活動について知らない</u>ので回答できない。(豊田加茂医師会)

県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

地域医療連携推進法人

県・県医師会・地区医師会

【はりま姫路総合医療センター整備推進機構】
 ・県医師会の役員が評議会の構成員に就任している。

(1)十分と評価した理由
 ・県医師会の役員が評議会の構成員に就任している。(兵庫県)
 (2)やや不十分と評価した理由
 ・評議員としてたつの市揖保郡医師会長井上喜通が参加しています(たつの市揖保郡医師会)
 ・評議員として山本一郎姫路市医師会長が出席しています(姫路市医師会)

【備北】
 当法人の代表理事は県医師会常任理事で、地域医療担当地区医師会の常任理事であり、当法人に地区医師会も参加しており連携は極めて良好である。

(1)十分・やや十分と評価した理由
 ・県医師会の地域医療担当役員が連携法人の理事長に就任している。同役員は、当該圏域において長年にわたって基幹病院の病院長を務め、医師確保の取組など地域の医療機関と緊密に連携しながら地域医療の充実に率先して取り組んできた実績がある(広島県医師会)
 ・地域医師会が法人に参画している(広島県医師会)
 ・圏域内の公立・公的病院が全て参画している(広島県医師会)
 ・備北医療圏内の基幹病院の病院長かつ広島県医師会の常任理事(地域医療担当)が代表理事で県と地域を密接につないでいる。地域医師会が連携法人の事務局を務めている。(広島県)

【アンマ】
 アンマ法人の代表理事が郡医師会の理事であり、定期的に大島郡医師会の理事会にてアンマ法人の活動報告をしています。また定期的に開催しているアンマ法人の会議に大島郡医師会の事務担当者が参加しています。

(1)十分と評価した理由
 ・郡医師会の役員が連携推進法人の代表であり、評議員の一人として別の役員が就任している。定期的に開催している連携法人の会議に郡医師会の事務局が参加している(大島郡医師会)
 (2)どちらでもないと評価した理由
 ・県医師会としては、連携法人に関与していない。大島郡医師会が、一定の関与をしており、取り組み状況について情報提供がある(鹿児島県医師会)
 ・地域医師会の役員が評議員の構成員に就任している(鹿児島県)

県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

地域医療連携推進法人	県・県医師会・地区医師会
<p>【日本海ヘルスケアネット】 <u>地区医師会が参加法人として参画している。</u></p> <p>【医療戦略研究所】 <u>元いわき市医師会長が評議員の構成員に就任している。</u> <u>平成31年1月から新しいわき市医師会長が評議員の構成員に就任予定。</u></p>	<p>(1)やや十分と評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>庄内地域の地域医師会については、酒田地区医師会十全堂が参加法人として参加しており、また鶴岡地区医師会長が評議員として参加しており十分な連携が図られているものと思慮する。</u>(山形県) <p>(2)不十分と評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域医師会では連携しているようであるが、県医師会とは連携していない</u>(山形県医師会) <p>(3)どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>県医師会の役員が評議員の構成員に就任している。</u>(酒田地区医師会十全堂) ・<u>連携推進法人に地区医師会が参加している。</u>(酒田地区医師会十全堂) <p>(1)どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>当該地区医師会の会長が連携法人の会議の構成メンバーとなっている。今後、医師会からの要請等により連携法人との連携、協力していくことが考えられる。</u>(福島県医師会) ・<u>地域医師会の役員が評議員の構成員に就任しているが、それ以外の連携についてはいまのところないため。地域医療構想達成のためには、連携法人と医師会が情報共有し、連携を図りながら進めていく必要があると考える。</u>(福島県) <p>(2)その他(※)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>医師会長</u>の木村守和医師は、<u>同法人の評議員就任を要請され、平成30年12月に同意した。今後開催される評議会に出席する予定</u>である(いわき市医師会) <p>※連携状況に対する5段階評価は不記載だったため。</p>

県医師会や地区医師会との連携状況に対する評価

地域医療連携推進法人	県・県医師会・地区医師会
<p>【房総】 <u>地域医師会の会長が評議会の構成員に就任している。</u></p>	<p>(1)どちらでもないと評価した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該法人は、<u>平成30年12月1日に設立されて間もない法人</u>であるため、<u>連携状況については今後の評価</u>となる。しかしながら、当該法人については、<u>地域関係者の連携を図るため、年に4回程度開催されている安房地域保健医療連携・地域医療構想調整会議の中で意見交換がされている。</u>この会議では、委員として地区医師会、オブザーバーとして千葉県医師会が参加している。平成30年10月に開催された会議では、当該連携法人や安房医療圏に関する期待や課題などについて意見交換が行われている。さらに、<u>今後の連携法人の運営においては、地域医療連携推進評議会の構成員に地区医師会の代表が加わると聞いており、</u>医師会との連携・協力体制は継続されていくものと考えている。(千葉県)

連携法人が与える良い影響／連携法人に期待している点

【尾三会／愛知県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域完結型医療の実現</u> ・ <u>参加法人に会う機会が増えて連携相談しやすい雰囲気</u>ができた。 ・ <u>情報共有</u>が出来る事 ・ <u>参加法人内での法人間コミュニケーションがとりやすくなった。</u> ・ <u>講師派遣により研修を実施</u>してもらうことで<u>職員のスキルアップ</u>ができた。 ・ <u>共同研修・講演会</u>などにより<u>医療安全・感染対策など最新の情報を得られ病院改善に寄与</u>している。 ・ 職員の<u>研修機会が増し</u>参加することで<u>他法人職員との交流機会</u>ができた。 ・ <u>参加法人とのコミュニケーションが積極的に取れるようになった。</u>情報交換の場が増えた。 ・ <u>医薬品の価格協同交渉により業務の効率化</u>が図れた。 ・ <u>医薬品共同購入</u>に伴う業務及び<u>コスト削減</u> ・ <u>人事交流により組織体としてのレベルアップに寄与</u>した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>参加病院の地域包括などの積極的利用。人事交流の活性化。電子連絡帳を使って情報共通</u>(東名古屋医師会) ・ <u>診療所と病院の連携が進むとよい</u>と思います(東名古屋医師会) ・ <u>複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域において質が高く効率的な医療提供体制が確保され、地域医療構想が達成されることを期待</u>している(愛知県) ・ <u>高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデル構築の更なる強化と、愛知県地域医療構想の実現に向けての貢献。</u>(愛知県医師会) ・ <u>地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供。</u>(愛知県医師会) ・ <u>医療従事者の質の向上支援。</u>(愛知県医師会) ・ <u>職員派遣による質の向上支援と人事交流。</u>(愛知県医師会) ・ 「地域医療連携推進法人尾三会」は、主に愛知県東部地域（三河地域）で活動のため名古屋市医師会は関与しておらず、<u>具体的なことを把握してない</u>(名古屋市医師会) ・ <u>活動について知らない</u>ので回答できない(豊田加茂医師会) ・ 特になし(西尾市医師会)(豊川市医師会)

【はりま姫路総合医療センター整備推進機構／兵庫県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>両病院の統合再編にあたり、両病院職員が同一法人職員として一体感を持ち、円滑に診療機能等の検討</u>を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両病院が<u>合併にむけて、支障のないように、業務連携を推進して頂きたい。</u>また、<u>地域のマグネット病院としての役割</u>が出来ること、<u>質の高い医療体制の構築</u>を希望する。他方、<u>地域内の医療を確保するための人員派遣も公的・民間を問わず行われることを要望</u>する(たつの市揖保郡医師会) ・ <u>三次救急の充実、一次外科救急の機能、医師の確保</u>(姫路医師会) ・ <u>円滑な再編統合（地域の基幹的病院の開設）</u>(兵庫県)

連携法人が与える良い影響／連携法人に期待している点

【備北メディカルネットワーク／広島県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想が始まる前から備北二次医療圏の4病院はすでに良好な関係であったが庄原市、三次市、三次地区医師会、日本赤十字社という異なる医療機関の設立母体が連携法人設立により一体的に医療圏での地域医療構想が容易となった。 ・医療資源の少ない地域であり、医師確保対策・ふるさと卒医師派遣などに力を結集できている。 ・大型医療器や保守契約の価格交渉で優位となった。 ・SPDなどで各医療機関の交渉を一元化できた。消耗品は購入価格が下がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域を含む医療資源に乏しい地域では、病院の合併、あるいは集約化などの弊害が起きている。<u>地域医療提供体制の確保は、そのまま地域住民の安心につながるため、こうした取り組みの推進は他地域でも先進的な取り組みなると期待している</u>（広島県医師会） ・現時点の参加法人は病院だけであるが、将来的には介護関係の施設も加わって、<u>地域包括ケアシステムが構築されることを期待している</u>（広島県医師会） ・医師のキャリアアップを支援するような環境整備を推進し、<u>若手医師、中堅医師を確保</u>することで、<u>へき地医療を維持、強化</u>していく役割を果たし、<u>同様の悩みを抱える地域のモデルケース</u>になること。また、特に高齢者が多いこの地域において、住民が、医療・介護・福祉サービスを切れ目なく受けることができるよう、<u>地域包括ケア体制の一翼を担う</u>こと。（広島県）

【アンマ／鹿児島県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<p>これまで、地域の医療機関・介護事業所等の連携はありました。しかし、情報共有レベルのみで、協働事業・地域貢献ということまでは実現していませんでした。</p> <p><u>本法人ができ、参加法人全体で「地域の為に」というベクトルがそろい、動き出しています</u>。具体的には、法人が出来る前は、患者紹介などの情報交換がほとんどであったが、<u>医師の勤務、訪問看護ステーションの経営、薬剤の購入など経営にかかわる事も話し合いの対象となって</u>きています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・離島という限られた医療・介護資源のなかで、自治体を含め、地域の関係者が連携して法人を構成しており、<u>地域課題を共有し、人的資源の有効活用や地域全体で医療介護連携の促進、基盤整備につながるのではないか</u>（鹿児島県医師会） ・自治体の長（瀬戸内町長・宇検村長）が理事に就任していることから、今後、<u>地域医療構想と地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療・介護の両分野の限られた人的資源を有効に活用してくための基盤となる可能性を秘めている</u>（大島郡医師会） ・地域の医療・介護をはじめとする各関係機関の連携を図りながら、<u>医療連携推進方針に基づいた事業が円滑に推進</u>されること。（鹿児島県）

連携法人が与える良い影響／連携法人に期待している点

【日本海ヘルスケアネット／山形県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<p>参加法人の中には、<u>当初、連携推進法人に参加することで自分の法人にメリットがあるのか半信半疑の職員もいましたが、人材確保という最も困っていることで支援を受けられたことで、認識を新たに</u>して積極的に参加する姿勢に変わったように感じています。また、<u>実際に出向先の職場に他法人の職員が入り、一緒に仕事することで、今後、参加法人が一体になってこの地域の医療・福祉を担っていくという意識付けの成果が出ています。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域における病床機能の分化・連携についての分析、議論が深化することを期待している</u>（山形県） ・ <u>地域の訪問介護事業の再編</u>（酒田地区医師会十全堂） ・ <u>定年後の勤務医の活用</u>（酒田地区医師会十全堂）

【医療戦略研究所／福島県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<p>現時点では特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>入院患者の在宅療養生活への円滑な移行の推移、病院と介護施設の連携強化、訪問介護ステーション等への人材交流による地域包括ケアの推進</u>（いわき市医師会） ・ <u>病院と診療所の機能分担と業務の連携</u>（いわき市医師会） ・ 当該連携法人の活動により、参加医療機関にメリットがある状況がわかれば、<u>先進事例として他の医療機関が連携法人を考慮するキッカケとなることを期待</u>する（いわき市医師会） ・ 当該連携法人が予定している次の体制の早期実現を期待している。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>連携法人内の在宅ケアサービス、訪問リハビリテーション等の複数のサービスの連動による、多様なニーズに対応する介護連携体制の構築</u> ✓ <u>患者の症状に応じた適切な医療を提供するため、急性期機能を担う医療機関と、回復期・慢性期機能を担う医療機関が連携した入院医療提供体制の構築</u>（福島県） ・ <u>当該連携法人における病診連携、診診連携による効率的な患者の紹介、入院患者のスムーズな在宅医療への移行などが行われることで、当該地域における地域医療の重要な役割を担うことを期待</u>したい。（福島県医師会）

連携法人が与える良い影響／連携法人に期待している点

【房総メディカルアライアンス／千葉県・医師会】

良い影響（連携法人）	連携法人に対して期待している点（県・医師会）
<u>人材の交流、病床機能の転換を当初の連携業務として検討を進めているが、患者紹介や健診事業での連携など、様々な可能性が出てきている。</u>	-

期待に応えられていないと認識している点／連携法人に対する懸念

【尾三会／愛知県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
<p>患者情報共有化に向けた情報システムに関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域医療連携推進法人が定める医療連携推進区域は原則地域医療構想区域内とされているところ、尾三会の医療連携推進区域は7つの構想区域にまたがっている。</u>このため、尾三会の認可にあたっては、愛知県医療審議会医療体制部会で審議したところ、 <ul style="list-style-type: none"> ① <u>本法人はその参加法人と業務範囲が多数の構想区域にまたがる地域医療連携推進法人であるため、その法人の事業運営にあたっては、それぞれの構想区域の医療関係者が、地域医療達成に向けて現在すでに行いつつあり、将来行うとしている取り組み内容を十分に理解し尊重すること。</u> ② <u>法人運営がその理念通り適切に運営されている状況について、愛知県医療審議会医療体制部会に、毎年報告すること</u> との附帯決議事項をもって認めて差し支えない旨を答申がなされたことから、認可においては、<u>上記2点の附帯決議事項を添えて通知している。</u>（愛知県） ・ <u>高度急性期病院から介護施設まで多岐にわたり広域連携を構築強化している。各地域医療構想区域の地域包括モデルとの密接な連携により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築にはもう少し時間がかかる。</u>（愛知県医師会） ・ 問題よりも<u>積極的に活動することを目指したい</u>（東名古屋医師会） ・ 「地域医療連携推進法人尾三会」は、主に愛知県東部地域（三河地域）で活動のため名古屋市医師会は関与しておらず、<u>具体的なことを把握してない</u>（名古屋市医師会） ・ <u>活動について知らない</u>ので回答できない（豊田加茂医師会） ・ 特になし（西尾市医師会）（豊川市医師会）

期待に応えられていないと認識している点／連携法人に対する懸念

【はりま姫路総合医療センター整備推進機構／兵庫県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
特に把握していない。	・ <u>医療人材の確保</u> (姫路市医師会)

【備北メディカルネットワーク／広島県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
<u>連携推進法人設立の意図やその影響</u> が各医療機関のトップには十分認識されているが <u>各医療機関の多くの職員、地域住民には理解されていない。</u> <u>当法人の今後行っていく事業を明確に示していきたい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療連携推進方針に掲げている <u>医師確保を達成</u>するためには、当該連携法人の <u>若手医師を支援する取組</u>や、<u>当該地域の病院が医師にとって魅了ある研修先、赴任先であることが、より広く周知</u>されることが必要と思われる。(広島県) ・ 特になし (広島県医師会)

【アンマ／鹿児島県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>電子カルテの統一化</u>。電子カルテを法人内でFreeに閲覧できる環境にするには、費用がかかりすぎる。 ・ <u>薬剤の共同購入ができない</u>ため、すぐに薬品購入についてのメリットを作れてない。 ・ <u>医療・介護についての連携の話し合いは増えているが、参加法人に対して具体的な方法を確立できず、経営面のメリットを作れていない。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体の長（瀬戸内町長・宇検村長）が理事に参加しているがために、<u>行政側から短期的な成果を求められる余り、法人アンマが近視眼的な取組をした結果、参加医療機関の足並みが乱れ、活動が停滞もしくは、最悪の場合、解散してしまうことを懸念しており、郡医師会としては注意深く動向を見守りながら適切な支援を適宜行っていく所存</u>である(大島郡医師会) ・ <u>現時点では、具体的な取り組みにいたっていない</u>(鹿児島県医師会)

期待に応えられていないと認識している点／連携法人に対する懸念

【日本海ヘルスケアネット／山形県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
・特になし	・ <u>医療機関に比べて社会福祉法人はやや危機感に乏しく、新しい取り組みへ消極的な印象がある</u> (酒田地区医師会十全堂) ・ 特になし(健康福祉部地域医療対策課)

【医療戦略研究所／福島県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
・ 現時点では特になし	・ 今のところは特にない。（具体的な取組が見えないため、現段階では判断できない。）(福島県) ・ 特になし(いわき市医師会) ・ 現在の連携法人の活動状況からは特にない。(福島県医師会)

【房総メディカルアライアンス／千葉県・医師会】

期待に応えられていないと認識している点（連携法人）	連携法人に対する懸念(県・医師会)
・ 特になし	・ 特になし(千葉県)

県・医師会から連携法人や国に対するその他要望

【尾三会】

- ・本県では現在、各構想区域において、各医療機関が将来担うべき役割について協議を行っており、当該法人に参加する医療機関については、協議の結果、それぞれの構想区域において役割を担っていくことになる。一方、当該法人内においても、機能分担により担う役割があるため地域と当該法人の中で担う2つの役割について、それぞれしっかりと果たしていただきたい(愛知県)

【日本海ヘルスケアネット】

- ・連携法人との綿密な連携は不可欠で、今後活動実績についての報告、定期的情報交換が必要だと考える(山形県医師会)

【医療戦略研究所】

- ・連携法人の特徴を活かした人材確保や機器の共同購入をした際には、当該連携法人以外の医療機関とも連携を図り、地域医療の充実化に繋げていただきたい。(福島県医師会)

【房総】

- ・当該法人は千葉県で最初に設立された地域医療連携推進法人であり、地域医療構想実現の試金石となっているケースである。平成30年10月開催の安房地域保健医療連携・地域医療構想調整会議において、地域医療連携法人の参加者の範囲について今後も検討してもらいたいという、当該法人への要望があった。こうした意見を考慮しつつ、事業の効果等を千葉県内の他の医療圏へも発信していけるよう法人が運営されることを期待している。(千葉県)

【国】

- ・国への要望はこの様なある意味地域包括に資する活動に財源を！！(東名古屋医師会)